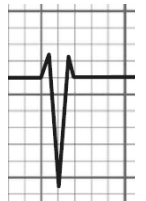


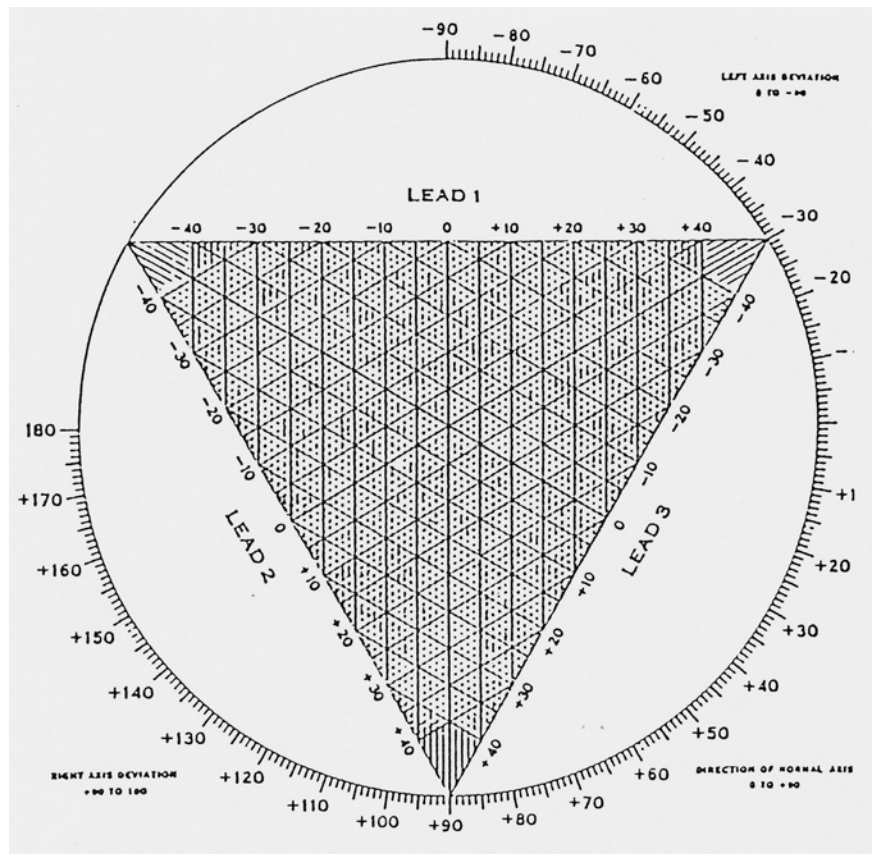
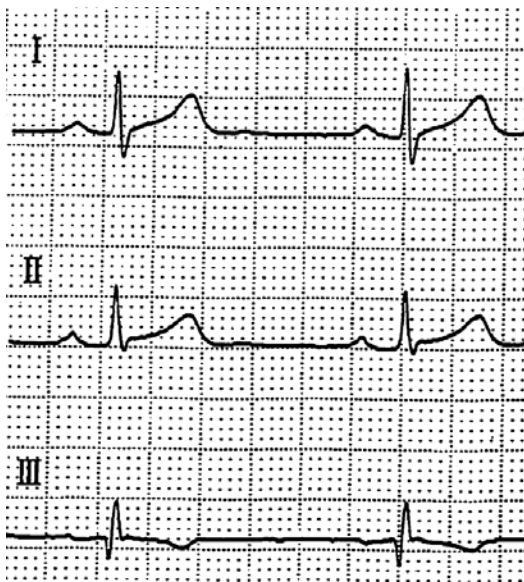
問1. 以下の文章のカッコ内に当てはまる適切な語句および数値を記入しなさい。

- (1) 胸部誘導において、V4誘導で用いられる電極の装着位置は、( ) 肋間と左鎖骨中線の交点である。
- (2) ある被験者のQRS平均電気軸は+130度であった。この電気軸は、( ) 偏位である。
- (3) 双極肢誘導で記録中に左手を動かした。筋電図が混入するのは( ) 誘導と( ) 誘導である。
- (4) 呼吸性不整脈とは、吸息時に心拍数が( ) し、呼息時に心拍数が( ) する現象である。これは心臓のペースメーカー細胞に対する( ) 神経の作用が抑制されるためである。
- (5) QRS波は、( ) の興奮を表している。
- (6) 心軸の回転を見るため、( ) 誘導を用いてR波とS波の振幅が等しくなる( ) を決定した。この正常な位置は( ) ~ ( ) の間である。
- (7) 感度10mm/mVの設定で、右図のようなQRS波形が見られた(最小目盛:1mm)。このパターンを表記すると( ) になる。



問2. 下図は、ある被験者の心電図波形(双極肢誘導)である(紙送り速度:25mm/sec. 最小目盛:1mm)。

以下の問いに答えなさい。



注:最小目盛1mmを用いて、計測・作図を行うこと

- (1) 被験者のPQ(PR)時間は( )秒である。
- (2) 被験者の心拍数は( )である。心拍数は、 $60 \div$  ( ) の式で求められる。
- (3) アイントーベンの正三角形法で求めた被験者のQRS平均電気軸は( )度である(符号は必須)。

※なお、作図に用いた計算、数値、補助線は全て残しておくこと。